

様式 11-1

事業報告書

(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団 吉祥会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人☐ 出資額限度法人 ☐ その他③ ☐ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 神戸市西区福吉台一丁目 1617 番 33

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 14 年 12 月 3 日

(4) 設立登記年月日 平成 14 年 12 月 3 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考

注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 6 条の 4 参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	山崎内科医院	神戸市西区福吉台一丁目 1617 番 33	
介護老人 保健施設	四季の郷	神戸市垂水区南多聞台二丁目 9 番 3	入所定員 100 名 通所定員 35 名

注) 1. 地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務)

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
さわらびデイサービスセンター小野	兵庫県小野市西本町 572	
さわらび居宅介護支援事業所	兵庫県小野市西本町 572	
さわらびの郷小規模多機能型居宅介護事業所	兵庫県小野市西本町 572	
居宅介護支援事業所四季の郷	神戸市垂水区南多聞台二丁目 9 番 3	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
なし		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

会議名				議決又は同意事項
令和	年	月	日	
令和	年	月	日	
令和	年	月	日	
令和	年	月	日	

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和 年 月 日 (施設名・事業所名)
令和 年 月 日
令和 年 月 日

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和 年 月 日 (指定内容)
令和 年 月 日
令和 年 月 日

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式11-2

法人名 医療法人社団 吉祥会
所在地 神戸市西区福吉台一丁目1617番33

※医療法人整理番号 28246

財 産 目 録
(令和 5年 3月 31日現在)

1. 資 産 額	1,102,986 千円
2. 負 債 額	1,075,287 千円
3. 純 資 産 額	27,698 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	195,564
B 固 定 資 産	907,422
C 資 産 合 計 (A + B)	1,102,986
D 負 債 合 計	1,075,287
E 純 資 産 (C - D)	27,698

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。
千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人社団 吉祥会
所在地 神戸市西区福吉台一丁目1617番33

※医療法人整理番号 28246

貸 借 対 照 表
(令和 5年 3月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	195,560	I 流 動 負 債	167,703
現金及び預金	21,502	支払手形	
事業未収金	168,863	買掛金	23,759
有価証券		短期借入金	99,820
たな卸資産	960	未払金	40,691
立替金	79	未払費用	
前払費用	3,940	未払法人税等	465
仮払金	215	未払消費税等	554
未収還付法人税等	1	前受金	375
II 固 定 資 産		預り金	2,039
1 有 形 固 定 資 産		前受収益	
建物	541,786	その他の流動負債	
建物附属設備	8,992	II 固 定 負 債	
構築物	18,361	医療機関債	
器械備品装置	16,021	長期借入金	904,487
車両運搬具	3,243	長期未払金	3,095
工具器具備品	1,157	その他の固定負債	
一括償却資産	484	負債合計	1,075,287
土地	10,467	純資産の部	
建設仮勘定		科 目	金 額
2 無 形 固 定 資 産		I 出 資 金	30,000
借地権	24,000	II 利 益 剰 余 金	△ 2,301
ソフトウェア	129	別途積立金	
3 その他の資産		繰越利益積立金	△ 2,301
差入保証金	80,220	III 評価・換算差額等	
長期貸付金	172,356	その他有価証券評価差額金	
敷金	14,400	繰延ヘッジ損益	
リサイクル預託金	231	純資産合計	27,698
出資金	160	負債・純資産合計	1,102,986
保険積立金	15,408		
資産合計	1,102,986		

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適當であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団 吉祥会
所在地 神戸市西区福吉台一丁目1617番33

※医療法人整理番号 28246

損 益 計 算 書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益	800,865	
2 事業費用	802,227	
(1)事業費		
(2)本部費		
本来業務事業損失		1,361
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業損失		1,361
II 事業外収益		
受取利息	2,507	
受取配当金	7	
その他の事業外収益	5,984	
雑収入	12,035	20,535
III 事業外費用		
支払利息	15,143	
保証料償却	1,478	
雑損失	602	17,225
経常利益		1,948
IV 特別利益		
固定資産除売却益		
その他の特別利益	15,155	15,155
V 特別損失		
固定資産除売却損	285	
その他の特別損失	37,367	37,653
税引前当期純損失		20,548
法人税・住民税及び事業税	465	
法人税等調整額		465
当期純損失		21,013

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 吉祥会
理事長 山崎 市雄 様

私は、医療法人社団 吉祥会の令和4会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はありません。

令和 4年 5月 30日
医療法人社団 吉祥会
監事 池田 浩